

令和8年 幼稚部年間指導計画

		年間目標		
		○好きな遊びを見つけ、楽しく遊ぶ。 ○食事や排泄、着替えなど、身のまわりのことに取り組む。 ○安心できる環境のなかで、自分の気持ちや要求を伝えようとする。		
学期	1学期（4月～7月）		2学期（9月～12月）	3学期（1月～3月）
ねらい	○生活リズムを整える。 ○保護者に見守られながら、新しい環境に慣れる。 ○一日の流れを知り、保護者や教師と一緒に取り組む。 ○好きな遊びや夏ならではの遊びを楽しむ。		○教師や友だちと関わり、一緒に遊ぶ。 ○様々な遊びに興味を持ち、楽しむ ○運動会に向けて、自分なりの表現や動きを楽しみながら、保護者と一緒に参加することができる。 ○様々な遊びを通して、いろいろな体の動きを経験する。	○友だちと関わり、一緒に遊ぶ楽しさやみんなと過ごす心地よさを知る。 ○いろいろな遊びをやってみようとする。 ○一日の活動の流れがわかり、主体的に活動する。 ○教師の話を聞いたり、自分の要求や思いを伝えようとしたりする。
保育内容 （健康 人間関係 環境 言葉 表現 自立活動）	○保護者に見守られながら、安心して遊ぶ。 ○保護者や教師と一緒に手を繋いで歩く。 ○登下校時、食事の前後のあいさつをする。 ○保護者や教師に気持ちや要求を受けとめてもらい、安心して過ごす。 ○朝の準備や食事、歯みがき、洗面、着替え、排泄等を保護者や教師と一緒に取り組む。 ○水遊びや七夕など、季節の行事を楽しむ。 ○水や絵の具等、素材の感触を楽しむ。 ○呼名に対して、タッチや言葉で返事をする。		○好きな遊びを見つけ、十分に体を動かす。 ○教師や友だちと関わろうとする。 ○朝の準備や食事、歯みがき、洗面、着替え、排泄等の流れがわかり、自分で取り組もうとする。 ○身近にある様々な素材の感触に慣れて楽しむ。 ○音楽に親しみ、歌をうたったり、簡単なリズム楽器を使ったりして楽しさを味わう。 ○運動会に向けて、かけっこや親子演技に取り組み、運動する楽しさを味わう。 ○秋の歌に親しみ、自然との関わりを深める。 ○季節の制作やクリスマスなどの行事を楽しむ。 ○自分の気持ちや要求を自分なりの方法で伝えようとする。	○友だちと玩具や場所を共有して遊ぶ。 ○手遊びやダンス等で、友だちとのふれあいを楽しむ。 ○一日の活動に見通しをもち、次の活動へ移ったり、進んで取り組んだりする。 ○友だちとの関わりや校外保育を通して、きまりの大切さに気付き、守ろうとする。 ○遊びに使うものを選んだり、自分で準備したりする。 ○正月遊びや節分遊び等、季節の遊びを楽しむ。 ○1年を振り返り、成長した喜びを感じる。 ○自分の気持ちや要求を身振りや言葉で伝えようとする。
教師の援助 及び支援	○新しい環境の中、生活リズムが整うよう活動の調整を行う。 ○自分から身のまわりのことをやってみようとする気持ちがあるよう、励ましの言葉かけを行う。 ○水に入るときには、個々の幼児の実態を把握し、安全に遊ぶことができるよう十分に注意する。 ○暑さで体調を崩しやすいので、遊びと休息の調整を行う。 ○写真・絵カード等を活用し、活動のイメージや見通しがもてるようにする。 ○こまめな水分補給を促す。		○新しい玩具や遊びに興味・関心があるよう教師が遊ぶ姿を見せる。 ○教師が仲立ちすることで、気持ちや要求など伝えたいことを一緒に伝える。 ○行事では、達成感や満足感を味わうことで、自信に繋げられるようにする。 ○身のまわりのことに自分で取り組む気持ちを大切にし、できたときには称賛する。	○季節の変化を感じながら、自然物に興味をもてるよう援助する。 ○友だちとの遊びを見守り、必要なときは仲立ちや援助をする。 ○一日の活動予定を掲示し、見通しがもてるよう一緒に確認する。 ○進級や就学に向けて、期待感をもてるようにする。 ○気温や運動による体温の上昇により、衣服の調整を行い、快適に過ごすことができるようにする。
環境の構成	○幼児の興味・関心のある玩具や絵本を自分で選べるよう、手の届くところに置く。 ○自分の持ち物の場所がわかるようシールやマークを貼る。 ○適切な休息をとり、水分の補給にも注意する。水筒を幼児が自分でとれる位置に置く。		○幼児の興味・関心に基づいた玩具の準備と配置の工夫。 ○季節の変化を感じることができるよう、壁面飾りを工夫する。 ○安心して活動できるよう、見通しがもちやすい環境を整える。	○幼児がやりたい気持ちを引き出し、それが達成できるように援助する。 ○教師が気持ちや要求の伝え方についての見本を示す。 ○一年間の活動を写真や動画で振り返り、月日や成長を感じられるようにする。
家庭との連携	○家庭での様子を聞きながら、幼児が安心して幼稚部で過ごすことができるようにする。 ○幼児の得意なことや保護者の願いなどを共有し、個別の教育支援計画の目標や支援方法について確認する。		○夏休み期間中の幼児の成長や変化について情報共有を行う。 ○生活リズムを整え、継続して幼稚部での活動に慣れるよう連携・協力する。	○幼児の成長記録を伝えるとともに、保護者からの要望を聞き、次年度の個別の教育支援計画に反映する。

